

春季休み期間の過ごし方について

尚絅学院大学

新入生の皆さんへ

このたびは、合格おめでとうございます。4月からの大学生活への期待に胸を弾ませ、新生活への準備に忙しい日々を過ごされていることかと思えます。

さて、本学ではこの1年間、学生と共に「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」に取り組んできました。

つきましては、新入生の皆様にも、在校生に配信している「春季休み期間の過ごし方について 3.12ver」をご熟読いただき、体調管理と感染防止対策の徹底をお願いいたします。

一人ひとりの意識と実践が感染症予防につながります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

<概要>

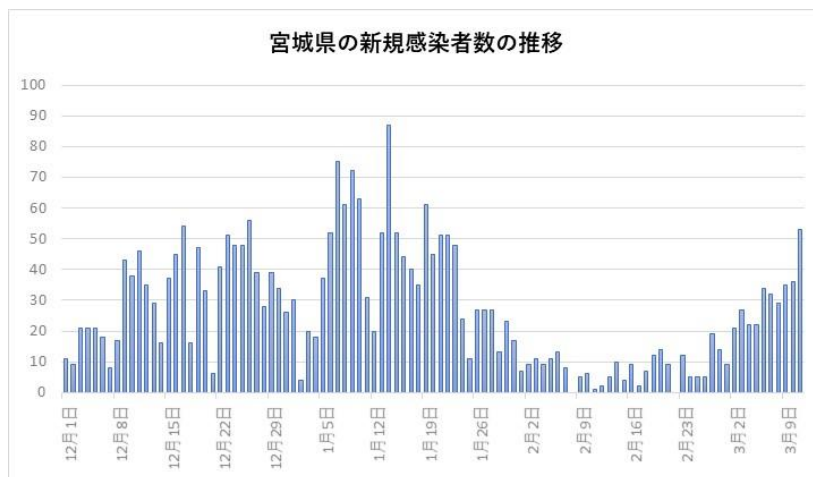
宮城県内は全国と異なり感染の再拡大する傾向が顕著になっており、さらに感染力の高い変異ウイルスの拡散、気の緩み、活動の活発化などにより感染リスクが高まる可能性が強く懸念されています。この中で、感染しない、させないために、以下の注意事項を必ずよく読んで、感染症止対策を徹底するようお願いいたします。基本的なポイントは次の通りです。

- ・ 3密回避、マスクの着用、手・指の消毒の徹底
- ・ リスクの高い活動の自粛（特に、飲食時を含めマスクをしない状態での会話等を含む）
- ・ 健康チェックの継続
- ・ 生活リズムを崩さない

<現状と感染防止について>

3月半ばとなり全国的には、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は減少傾向にあり、東京都の人口10万人当たりの直近1週間(3/5～3/11)の新規感染者数は13.73名、神奈川県は8.38名、大阪府は6.19名となっております。一方、宮城県は10.45名と全国で3番目に高く、東京都の76%、神奈川県の125%、大阪府の169%と

緊急事態宣言が発出された地域に匹敵、あるいは大きく上回る状況となっており、また、図の通り再び増加する傾向が顕著となっています。全国的には、感染力の強い変異株が広がっているとの報道もあり、全国的な感染者数の減少傾向やワクチン接種の開始などによる気の緩み・気温の上昇による人の活動の活発化などにより、さらに感染が拡大するリスクも強く懸念されるところです。最近県内で発生したクラスターの事例では、いずれもマスクを外しての飲食や会話があったとの報道があり、感染防止に対する気の緩みが一因とも考えられます。



これから、新入生の皆さんは4月からの新生活のスタートを切るための準備やオリエンテーション・入学式等の新学期を迎えるための心身両面の準備を行うための大切な期間となります。

このように、感染の再拡大の兆しがある中、新しいスタートへの準備という重要な時期を迎えるにあたり、新型コロナウイルス感染症に自分が感染しない、他の人をさせないため、次の在校生にも配信している「感染防止のための留意点」を確認の上、これらの感染防止対策を徹底してください。残りの春季休み期間中気を緩めずに感染から身を守り、十分な準備を行ってそれぞれの新しいスタートを迎えられるようお願いいたします。

感染防止のための留意点

- ・ 3 密回避、マスクの着用、および手洗い、消毒を徹底すること（フェイスシールドやマウスシールドは十分な効果が期待できないことからマスクの代用とはならない）。
- ・ 規則正しい行動、睡眠、食事により生活リズムを崩さず健康で感染しにくい体づくりを意識すること。
- ・ 毎日の体調チェックの継続、および、本人あるいは同居する方に発熱や咳、のどの痛み、倦怠感、味覚・嗅覚障害などの症状がある場合は外出を控え、自身にそのような症状がある場合は早めに医療機関に相談すること（早めの対応が感染拡大を防ぎます。医療機関へ相談した場合は、大学学生生活課へ連絡^(**)をすること）。
- ・ シールドなどの十分な感染防止策の講じられていない場所（飲食店、自宅、アルバイト先などの休憩室・会議室などの区別なく）で、同居人以外の 5 名以上での飲食は控えること。また、感染防止対策が行われた場所、或いは戸外や 4 名以下の場合でも、長時間（1 時間以上）は避け、飲食時は一定の距離（1 m 以上）を確保するとともに、会話する場合は大声を出さず必ずお互いにマスクを着用すること。
- ・ 複数人でのカラオケなど大きな発声を伴う活動や、呼吸が荒くなるような身体活動など感染リスクの高い活動は自粛すること。もしこれらの活動を行う場合は、常時マスクの着用、手指・器具等の消毒、対面を避け 2 メートル程度の十分な距離を取る、常時充分な換気、必要な水分補給以外の飲食を行わないなどの他、状況に応じた必要な感染防止のための対策を必ず講じること。
- ・ 就職や旅行などで長時間の移動や緊急事態宣言が発出されている地域等への移動・城内での活動については、必要性や感染リスクなどを考慮し慎重に判断すること。もし、実行する場合は、帰宅後 2 週間程度は不要な外出は控え、健康観察を行うこと。
- ・ アルバイトやインターンシップ、就職活動等を行う場合は、所属先等の感染防止対策に従うとともに、本学ガイドライン^(*)にも十分留意すること。

万が一、十分な感染防止対策が講じられていない状況で、5 名以上での飲食やカラオケ、身体活動を伴う活動などを実施してしまった場合は、2 週間程度は止むを得ない場合を除き外出を控え自宅で健康観察を行うこと。

また、だれかと飲食や感染リスクの高い活動（近い距離での 1 時間以上の行動を含む）を共に行う場合は、自身の体調に加え、相手の体調にも十分に留意し、少しでも不安がある場合は躊躇せず取りやめること。尚、活動後 2 日以内に本人あるいは行動を共にした方に体調不良や感染が確認された場合は、外出を控え、速やかに学生生活課に連絡^(**)すること。

(*) 感染防止のためのガイドライン：<http://www.shokei.jp/information/detail.php?p=767>

(**) 尚綱学院大学学生生活課：Tel.:022-381-3307、mail: gakusei@shokei.ac.jp

以上のことに留意して、皆さんがこの特別な状況下で、春季休み期間を健康で有意義に過ごすことを期待します。

※ 尚、入構に際しては、2 週間の「体調チェックシート」を確認の上、問題がないことが条件となっています。入学式 並びに オリエンテーション等による入構も例外ではありません。「体調チェックシート」の記入を忘れずに継続してください。